

今の中国の女性について

彭嘉瑜

PENG JIAYU

中国の女性は積極的に社会の富を創出しており、就業、経済、家庭、教育の分野で、彼女らの存在、活躍なくしては、現在のような発展はなしえなかったといっても過言ではないと思います。

現在、中国の女性の労働参加率は70%に達し、世界で最も高い国の一つです。しかし、この労働参加率の下で、中国の女性が直面する圧力はますます大きくなっています。この圧力は身体的なものだけではなく、精神的なものも多いです。

中国の大多数の家庭では、家の中が片付いているかどうかで、女性が勤勉か怠惰か判断する一方、男性を家事の点から評価することはありません。中国では、20%の家庭で女性が全ての家事を担当し、42%の家庭で女性がより多くの家事をしなければなりません。男性が女性より家事を多くする家庭は10%に過ぎません。

それに、子どもの教育や生活に関わる事もほとんど女性が担当します。例えば、学校や先生との連絡は大部分母が担当しています。宿題、習い事、遊び、お喋り、それらにも母が付き合います。父親も教育に全く参加していないわけではありませんが、断続的で不定期なので、その割合はずっと小さいです。

なお、今の中国では、70%の女性が家庭と仕事が同等に重要だと考えており、彼女たちは家庭と仕事を両立させたいと考えています。仕事より家庭が重要だと考える女性は10%に過ぎませんでした。これは、社会が女性に経済的自立のみならず、家庭での家事における中心的役割をも要求し

ている現実の表れではないでしょうか。夫も妻に優しさや思いやり、勤勉さを要求して、「公式の場での活躍と同時に、台所仕事もする」事を求めています。さらに、子どもまで母親に教養や学識といった経歴に加え、付き添いや、情緒の安定までも要求します。一人の女性がいい嫁、いい母、いい娘になるだけでなく、いい先生、いい家政婦、いい心理学者などにもなり、一日24時間休むことなく各戦場に赴いています。

しかし、女性には、弱い面も当然あり、理解され配慮される必要があります。ある母親は、あるフォーラムで「私は苦労は怖くない、理解されないのが怖い。」とっていました。

実は、このような現象は中国だけでなく、アジア各地で見られています。それなのに、妻が文句を言うと、夫はうんざりし、あげくのはてには、妻殺しやDVなど、女性に害を及ぼします。これは女性が理解されていないからです。

これまで、そして現在の中国の女性は絶えず努力し、社会の中での存在感や地位を向上させてきました。私は、女性は男性に劣らないと信じています。今後の社会の発展と女性たちのたゆまぬ努力によって、近い将来は現在女性が現在抱える問題が解消され、みんなが自分の夢を実現させられる世の中が来ると期待していますし、その実現のために自分も貢献していきたいと考えています。